

第二次中期アクションプラン



平成18年1月24日



北陸経済連合会

【はじめに】

北陸地域は、コンパクトな地域の中に変化に富んだ豊かな自然と魅力ある都市が連続して共存する地域であり、多彩な文化・歴史を擁するとともに、特色ある産業・技術の集積等により、成長のポテンシャルの高い地域である

また、日本海沿岸地域の中央にあって、三大都市圏や北東アジア諸国に近接した地理的優位性を有し、さらには勤勉で優れた人的資源が存するなど、360度の地域連携と国際交流が行える先導的地域として位置づけられている

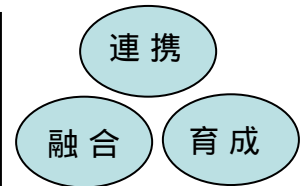
【目指すべき北陸像】

自然と都市機能とが共生する、世界に開かれた産業・文化・交流の拠点

… 日本海沿岸中央拠点の形成

【アクションプランの基軸】 活動の根幹となる視点

- ・ 内外経済圏との「競争」と「協調」を高次レベルでバランス
- ・ 北陸ブロックとしての一体感・存在感の強化、向上
- ・ 地域としての“地力”のベースとなる人的資源の集積



で結ぶ北陸のきずな

【中期活動方針】 計画期間：2006年度～2010年度の5年間

- ・ 人流・物流の結節点“北陸”の構築 < 東アジア諸国と共生する北陸の確立 >
- ・ 活力あふれる地域づくりの推進 < 多様な主体が連携、協働するしくみへ >
- ・ 地方分権型社会システムの構築 < 地域の主体性が発揮される社会の構築 >

【北陸ブランドメッセージ】

Uniqueness and Unity Hokuriku

北陸3県がそれぞれ持つ個性、多様性を大切にしながら、北陸が一つのまとまりとして、東アジアの経済発展とともに成長していくというメッセージ

略称 『U+U Hokuriku』 (ゆ・ゆう ほくりく)

『U(「ゆ」、「ゆう」)の持つ意味・イメージ』

- ・ 湯(温泉) ・ 裕(豊かさ, 生活環境の良さ) ・ 優(優雅, 優美等) ・ 遊(あそび)
- ・ 雄(雄大な自然) ・ 友(親しみやすい, 加賀友禅等の伝統) ・ 悠(ゆったり)
- ・ 勇(果敢なチャレンジ) ・ 夕(夕日の美しさ) ・ YOU (あなたへ)

第二次中期アクションプラン（2006年度～2010年度の活動指針）

個別施策については、活動状況および環境変化を踏まえ、毎年度の事業計画にて柔軟に見直し・ローリングを行っていく

・ 人流・物流の結節点“北陸”の構築 < 東アジア諸国と共生する北陸の確立 >

重点活動項目	個別施策(例示)
陸,海,空の一体的 基盤整備の促進 *1	北陸新幹線の整備促進,並行在来線対策の検討 高規格幹線道路の建設促進 港湾,空港の整備促進
物流結節点の形成 促進 *2	外貿コンテナ輸送の利便性向上及びコストダウンの促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ ユーザーの視点に立ったケーススタディの実施 ・ 国際物流及び国内配送ネットワークの形成 中期:釜山トランシップによる韓国航路,釜山港の活用推進 長期:直行便開設 ・ 潜在貨物量の調査,把握 共同ポートセールスの推進,増便試験運行の推進 物流拠点としての北陸の魅力の再確認,PRの実施 総合物流体制の構築推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 港でのソフトサービス(専用倉庫等)の向上 ・ 情報ネットワークの強化,高度化
広域観光の推進 - 交流人口の拡大 - 産業波及効果の 取り込み *3	広域観光推進のための情報整備と情報共有化の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光客受入のための情報の収集,提供 ・ 観光関係統計データの整備 ・ 観光客受入に対する地域住民の理解促進 <hr/> 観光誘致戦略(マーケティング戦略)の策定(特にインバウンド) <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光客のニーズ把握 ・ 東アジアに北陸をPRするキーワードの作成(富・金・福など) ・ 北陸をベースとした広域モデルコースの開発 ・ 滞在型メニュー等の開発 ・ 旅行代理店,メディアの活用 ・ 北陸ファンクラブ,北陸応援体制づくり,ホームページ等の充実 <hr/> 外国人観光客受入体制の充実,整備促進(ハード・ソフト) <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国語表記の案内板等の充実 ・ 空港通関体制の充実 ・ 総合インフォメーション機能の強化 ・ 観光案内人(インタープリター)の育成 ・ 留学生活用システムの構築 ・ 観光学科の設置拡大

内部検討委員会

*1 = 社会基盤整備委員会(既存委員会)

*2 = 物流機能強化委員会(H18新規設置)

*3 = 広域観光推進委員会(H18新規設置)

人流・物流の結節点“北陸”の構築 < 東アジア諸国と共生する北陸の確立 >

重点活動項目	個別施策(例示)
東アジアを中心とした文化、 経済交流の推進 中国、台湾、 韓国、ロシア等々 *4	東アジアとのビジネス交流の推進 <ul style="list-style-type: none"> 北陸3県一体となった国際見本市等の開催 「北陸(日本)・韓国経済交流会議」の継続開催
	東アジアへの進出に関する情報収集と利活用の推進 <ul style="list-style-type: none"> 中国等との情報ネットワークの構築
	東アジアを見据えた人材の育成、活用 <ul style="list-style-type: none"> 留学生と企業との交流拡大(インターンシップ制度の活用など) 東アジア経済を研究する研究者の北陸地域内における育成 (大学の講座等支援:講師派遣,企業OBの活用など) 留学生帰国後のネットワーク構築

内部検討委員会 *4 = 国際交流推進委員会(H18新規設置)

活力あふれる地域づくりの推進 < 多様な主体が連携、協働するしくみへ >

重点活動項目	個別施策(例示)
産業の振興支援 *5	北陸の技術、ノウハウを活かしたイノベーションの創出 <ul style="list-style-type: none"> 独自の技術力を持つ中小・中堅企業のネットワーク強化 <ul style="list-style-type: none"> 分野別分科会等の設置 知的財産保護等に関する啓蒙活動の実施 地域の産業に即した人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> 北陸ならではの特色ある講座等の設置 企業による講座支援,人材育成プログラムの受入等
	国内企業の北陸への誘致推進 <ul style="list-style-type: none"> 立地拠点(研究開発拠点,物流拠点,バックアップ拠点等)としての利便性訴求,PR強化
	外国企業誘致戦略の策定,実行 <ul style="list-style-type: none"> 誘致キーワード策定,誘致ターゲット設定 国際交流特区・規制緩和の活用検討 外国人受入体制の整備(子女の教育環境等) 「Invest in Hokuriku」(仮称)ホームページの開設 [英語,中国語,韓国語,ロシア語等] 照会窓口機能等の整備

内部検討委員会 *5 = 産業開発委員会(既存委員会)

． 活力あふれる地域づくりの推進 < 多様な主体が連携，協働するしくみへ >

重点活動項目	個別施策(例示)
循環型社会システムの形成 推進 *6	地球環境の保全，資源エネルギーの有効利用に関する普及啓蒙 循環型ビジネスの創出支援
自然と都市機能とが 共生 する生活拠点の 形成促進 *7	安全，安心な生活基盤の整備(治山治水等) “癒し” & “潤い”のある生活拠点としての魅力PR ICT (Information & Communications Technology) の利活用促進

内部検討委員会 *6 = 産業開発委員会(既存委員会)
*7 = 社会基盤整備委員会(既存委員会)

． 地方分権型社会システムの構築 < 地域の主体性が発揮される社会の構築 >

重点活動項目	個別施策(例示)
北陸地域内相互の連携強化 *8	地方分権改革，国土形成計画等に関する調査研究 地方経済ブロックの自立を促す税制，財政措置等の調査研究
民間活力の活用推進 *9	PFI (Private Finance initiative) ， PPP (Public Private Partnership: 官民協働) 等の推進 規制緩和，特区活用策等の調査研究

内部検討委員会 *8, *9 = 総合対策委員会(既存委員会)

組織運営に関するアクションプラン (2006年度~2010年度の活動指針)

． 事業活動基盤強化

重点活動項目	個別施策(例示)
内外との コミュニケーション強化 *10	地区担当制導入等による会員サービスの向上 他団体等との連携強化

内部検討委員会 *10 = 広報・組織基盤委員会(H18新規設置)

推進体制

1. 内部委員会の再編

7委員会（H18年度～）	4委員会（現行）
総合対策委員会【既存】 地域経済社会全般にわたる総合的な問題について調査研究し、その対策を立案する	総合対策委員会
社会基盤整備委員会【既存】 産業基盤、生活基盤の整備拡充について調査研究し、その対策を立案する	社会基盤整備委員会
産業開発委員会【既存】 産業開発に関する課題について調査研究し、その対策を立案する	産業開発委員会
物流機能強化委員会【新設】 物流機能強化に向けた連携方策について調査研究し、その対策を立案する	広域連携委員会 戦略課題毎に委員会を組織することとし、「広域連携委員会」は廃止する
広域観光推進委員会【新設】 広域観光の推進方策について、調査研究し、その対策を立案する	
国際交流推進委員会【新設】 東アジア諸国を中心とした文化、経済交流の推進方策について調査研究し、その対策を立案する	
広報・組織基盤委員会【新設】 事業活動基盤の強化、内外とのコミュニケーション強化に関する対策を立案する	

2. 連携強化

内部委員会の再編に加え、戦略課題の解決を図っていくための産学官連携会議体等の設置を働きかけていく

(例示)

- ・ 地元港湾の利用促進等を目的とする「北陸広域物流促進会議(仮称)」の設立

以上